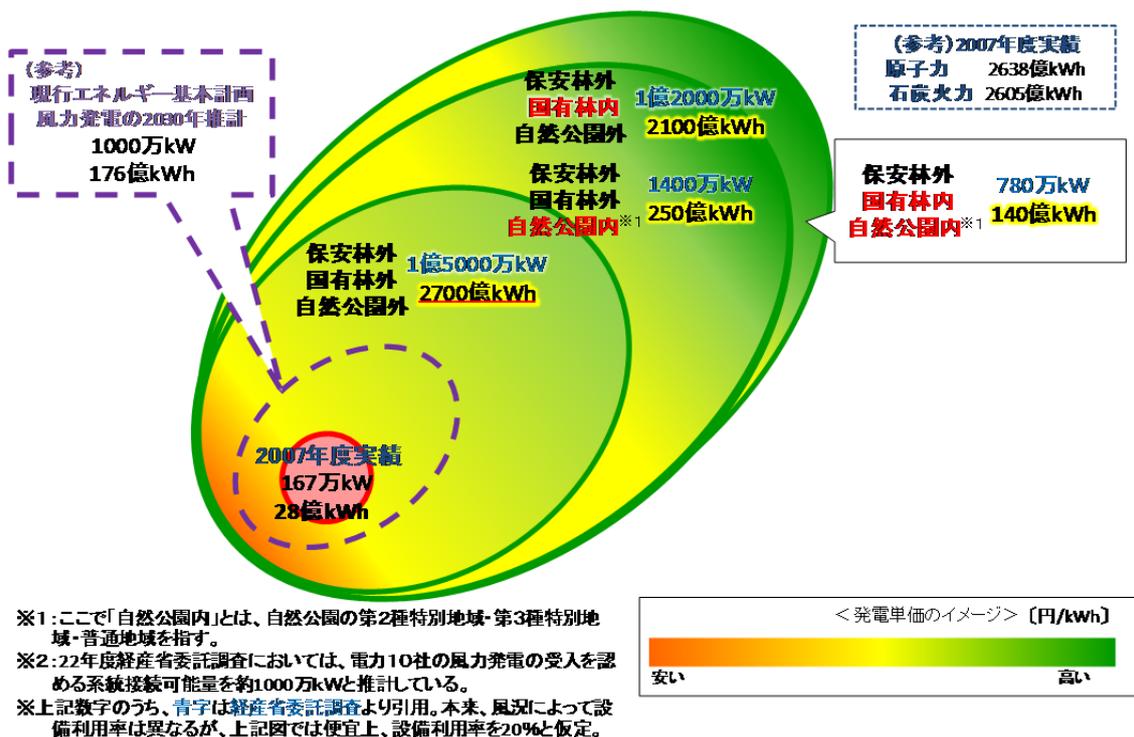


(1) 導入ポテンシャルから見た陸上風力の可能性

- 陸上風力の導入ポテンシャルは、保安林外・国有林外・自然公園外で約 2,700 億 kWh ある。
- 風況がより良い場所で、風力発電は、ベース的な電源としての役割の一部を担う可能性があるが、ただし、このポテンシャル量が実際に開発されるためには、系統制約や更なる制度的な制約が解消されることが必要である。
- 例えば、実際には、北海道北部、東北北部などの風況の良い場所では、受入余裕のある電力会社の現状の系統から遠く離れていることが多い。また、従来の系統接続可能量を考慮すると、1,000 万 kW (約 170 億 kWh) 程度が風力の導入可能量ではないか、との推計もある。
- このため、実際の立地拡大には、規制・制度改革や、系統及び系統間連系の抜本強化など多くの政策的課題を解決することが不可欠である。



(図 1) 風力発電の導入ポテンシャル